

## 第 1 回地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会の御意見を受けての変更点

## 1 平成 29 年度業務実績評価について

以下の点について、評価委員会のコメント欄に記載

## (1) 資料 1 P 8 周産期医療

追加の文面 重症の新生児が増えており、NICUが満床の病院もある。引き続き、周産期医療 2 次病院として、より重症度の高い患者や未熟児に対する取組を続けていただきたい。

## 2 第 2 期中期目標期間における業務実績見込評価について

## (1) 資料 4 P 130 救急医療について

修正前 救急医療については、9 列の当直体制と全診療科のオンコール体制、休日救急管理日直の配置等、院内の受入体制整備に努め、毎年度約 6,000 件の救急搬送を受け入れた。

修正後 救急医療については、9 列の当直体制と全診療科のオンコール体制、休日救急管理日直の配置等、院内の受入体制整備に努め、毎年度約 6,000 件の救急搬送を受け入れた。一方で、特に夜間・休日において、処置後の入院調整等に時間を要し、新たな患者を受けられなかったことなどから、今後、積極的な救急搬送受入に向け、課題解決に取り組む必要がある。

## (2) 資料 4 P 130 高度専門医療について

修正前 高度専門医療の分野では、手術支援ロボットの活用に関して保険収載されている前立腺がんを中心に着実に手術実績を積み上げただけでなく、平成 27 年度には全国で 4 番目となる「内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術」が先進医療として認められるとともに、医療機関訪問、地域医療フォーラム開催等による病病・病診連携も積極的に進め、逆紹介の推進等により、地域医療機関との適切な役割分担に取り組んだ。その他、・・・

修正後 高度専門医療の分野では、手術支援ロボットの活用に関して保険収載されている前立腺がんを中心に着実に手術実績を積み上げただけでなく、「内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術」が平成 27 年度に全国で 4 番目の先進医療保険適用病院として指定されるとともに、医療機関訪問、地域医療フォーラム開催等による病病・病診連携も積極的に進め、逆紹介の推進等により、地域医療機関との適切な役割分担に取り組んだ。その他、・・・

### 3 第3期中期目標について

(1) 資料6 P140 第3の1(5) 高度専門医療 ア 地域医療連携の推進

修正前 地域のかかりつけ医等との適切な役割分担の下、高度な急性期医療を担うこと。また、地域の医療機関を積極的に支援することにより、「地域医療支援病院」として地域の医療水準の向上に寄与すること。

修正後 地域のかかりつけ医等との適切な役割分担の下、高度な急性期医療を担うこと。

また、超高齢社会の到来や生活習慣病の増加などによる疾病構造の変化等を踏まえ、合併症等の総合的な診療が必要な患者への対応など、地域の医療機関を積極的に支援することにより、「地域医療支援病院」として地域の医療水準の向上に寄与すること。

(2) 資料6 P149 第6の3 経営改善の実施

修正前 計画的な資金管理及び調達を行うとともに、安定した病院運営を確保するため、収益力向上や経費削減、資産の有効活用などの経営改善を着実に実施すること。

修正後 計画的な資金管理及び調達を行うとともに、安定した病院運営を確保するため、長期的な視点で、収益力向上や経費削減、資産の有効活用などの経営改善を着実に実施すること。